ミドルレンジ8ch 切替リーダライタ EEPROM 設定引き継ぎの方法

発行日 2018年5月8日 <u>Ver 1.00</u>

◆本資料の対象機器

インター	引き継ぎ後 機器		引き継ぎ前 機器	
フェース	製品型式	備考	製品型式	備考
RS-232C	TR3X-MD01-8	ミドルレンジ 8ch 切替 出力: 100mW/300mW(切替)	TR3-MD001C-8	ミドルレンジ 8ch 切替 出力: 300mW(固定)
			TR3-D002C-8	ショートレンジ 8ch 切替 出力: 100mW (固定)
USB	TR3X-MU01-8	ミドルレンジ 8ch 切替 出力: 100mW/300mW(切替)	TR3-MU001C-8	ミドルレンジ 8ch 切替 出力: 300mW(固定)
			TR3-U002C-8	ショートレンジ 8ch 切替 出力: 100mW (固定)
TCP/IP	TR3X-MN01-8	ミドルレンジ 8ch 切替 出力: 100mW/300mW(切替)	TR3-MN002C-8 TR3-MN001C-8	ミドルレンジ 8ch 切替 出力: 300mW(固定)
			TR3-N002C-8 TR3-N001C-8	ショートレンジ 8ch 切替 出力: 100mW(固定)

タカヤ株式会社

マニュアル番号: TDR-OTH-EEPROM-MIDDLE-8-100

はじめに

このたびは、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本資料では、機器設備更新等でリーダライタを置き換えされるお客様向けに、旧機種のリーダライタの EEPROM設定を新機種へ引き継ぐ方法を説明しています。

■本書内で参照している説明書、および使用ツール 本書内では、下記の手順書や説明書を参照し、各種ツールを使用しています。 ご使用前に、下記 URL よりダウンロードされることをお勧めいたします。

□ 参照する手順書および説明書

- ➤ TR3RWマネージャ取扱説明書 (TR3RWManagerの各種機能の使用方法を説明します)
- ▶ LAN インターフェース設定ツール IPSet 取扱説明書 (LAN 設定ツール IPSet の使用方法を説明します)
- ▶ LAN インターフェース設定ツール IPSet2 取扱説明書 (LAN 設定ツール IPSet2 の使用方法を説明します)

□ ユーティリティツール

- ➤ TR3RWManager ※Ver3.50 以降をご使用ください (リーダライタの EEPROM 設定内容の[保存]/[復元]や、変更を行う際に使用します。)
- ➢ IPSet (LANインターフェース設定の変更ができます、機種により使用するツールが異なります。)
- ➢ IPSet2 (LAN インターフェース設定の変更ができます、機種により使用するツールが異なります。)

□ ダウンロード先

TR3RWManager、LAN インターフェース設定ツール IPSet、IPSet2、およびその取扱説明書 [URL] <u>http://www.takaya.co.jp/product/rfid/hf/hf_utility/</u>

目次

1.1	本資料で使用する用語の説明	. 1
1.2	EEPROM 設定引き継ぎの流れ	. 2
1.3	最新版の TR3RWManager を PC にインストールする	. 3
1.4	旧機種を PC と接続する	. 4
1.5	旧機種で EEPROM 設定を保存する	. 7
1.6	新機種で EEPROM 設定を復元する	10
1.7	機種ごとの必須確認項目を手動で確認・変更する	13
1.7.	1 汎用ポート設定	14
1.7.	2 アンテナ切替設定	16
1.7.	3 各種設定 2	17
1.8	S6700 互換モードに切り替える	18
変更履	歷	20

1.1 本資料で使用する用語の説明

本資料では、以下の用語を用いて説明を行います。

お客様がお持ちのリーダライタ機器の型名をご確認の上、該当する箇所をお読みください。

・新ミドルレンジ機種

出力が100mW/300mW(可変)のリーダライタで、以下の型番の製品のことを表します。

インターフェース	RS-232C接続	USB接続	TCP/IP接続
型名	TR3X-MD01-8	TR3X-MU01-8	TR3X-MN01-8

・旧ミドルレンジ機種

出力が300mW(固定)のリーダライタで、以下の型番の製品のことを表します。

インターフェース	RS-232C接続	USB接続	TCP/IP接続
刑友	TR3-MD001C-8	TR3-MU001C-8	TR3-MN001C-8
型名			TR3-MN002C-8

・旧ショートレンジ機種

出力が100mW(固定)のリーダライタで、以下の型番の製品のことを表します。

インターフェース	RS-232C接続	USB接続	TCP/IP接続
开门友	TR3-D002C-8	TR3-U002C-8	TR3-N002C-8
		_	TR3-N001C-8

・新機種

上記、「新ミドルレンジ機種」のことを表します。

・旧機種

上記、「旧ミドルレンジ機種」と「旧ショートレンジ機種」を併せて「旧機種」と表現します。

1.2 EEPROM 設定引き継ぎの流れ

旧機種から新機種にEEPROM設定を引き継ぐ際は、以下の手順で行います。

手順	内容	参照先
手順1	最新版のTR3RWManagerをPCにインストールする	1.3項
手順2	旧機種の電源を入れ、TR3RWManagerを起動してPCと接続する	1.4項
手順3	旧機種でEEPROM設定を保存する	1.5項
手順4	新機種の電源を入れ、TR3RWManagerを起動してPCと接続する	—
手順5	新機種でEEPROM設定を復元する	1.6項
手順6	機種ごとの必須確認項目を手動で確認・変更する	1.7項
手順7	一部コマンド使用時、動作しない時は必要に応じてS6700互換モードに 切り替える	1.8項

1.3 最新版の TR3RWManager を PC にインストールする

旧機種から新機種へのリーダライタの EEPROM 設定の引き継ぎは、ユーティリティツール(TR3RWManager)を使用して行います。

新機種に付属の CD-ROM に収録されている、TR3RWManager Ver3.50 以降をインストールしてください。 また、最新版は弊社 WEB サイトからダウンロードすることが可能です。

インストール手順は、「TR3RWManager 取扱説明書」を参照ください。

「TR3RWManager」「TR3RWManager 取扱説明書」は、以下の WEB サイトからダウンロードできます。 [URL] <u>http://www.takaya.co.jp/product/rfid/hf/hf_utility/</u>

旧機種からの EEPROM 設定の「保存」、新機種への EEPROM 設定の「復元」を行う際には、 必ず Ver. 3. 50 以降の同じバージョンの TR3RWManager を使用してください。 ※設定ファイルに過不足・不整合が生じ、EEPROM 設定が正しく復元できません。

<動作環境>

セットアップを始める前に、お使いになっているパソコンの動作環境をご確認ください。 本ソフトウエアを快適にご利用いただくためには、以下の環境を満たしていることが必要です。 本ソフトウエアには、外部ファイルからのデータ読み取りや外部ファイルへのデータ出力機能が備え られています。それらの機能を利用する場合には、管理者権限を必要とする場合があります。

環境項目	必要な動作条件
CPU 周波数	1.0GHz 以上
メモリ容量	512MB 以上
OS	Windows10、Windows8.1、Windows8、Windows7、WindowsVista
.NET Framework	Microsoft .NET Framework 3.5以上
ディスプレイ解像度	1024 x 768 以上

本ソフトウエアは起動時や終了時に設定ファイルの読み書きを行いますので、プログラムを管理者 として実行する必要があります。

「管理者としてログインする」ことと「管理者としてプログラムを実行する」ことは異なります。 「デスクトップ上のショートカット」または「プログラムの実行ファイル」からプロパティを開き、 「互換性」タブの「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れておくことで、 常に管理者として実行することが可能です。

TR3RWM V3: •	間く(0) ファイルの場所を開く(I) 管理者として実行(A) 互換性のトラブルシューティング(Y) スタート画面にピン留めする ウイルススキャン 解凍(X) 上縮(U) タスク パーにピン留めする(K) 以前のパージョンの復元(V) 送る(N) > 切り取り(T)	全般 互換性 セキュリテイ 詳細 以前のパージョン このブログラムがこのパージョンの Windows で正しく動作しない場合は、互換せのドラブルシューティング ソールを実行してくたさい。 互換性のドラブルシューティング ソールの実行 互換性の設定を手動で選択する方法 互換モード □ 互換モードでこのブログラムを実行する: Windows 8 ジア ひァト (250) カラー G40 x 480 の解像度で実行する 面 DPI 設定では画面のスケーリングを告効にする
	ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M) ブロパティ(P)	● すべてのユーザーの設定を変更

1.4 旧機種をPCと接続する

ユーティリティツール TR3RWManager を使用して旧機種を PC に接続する方法を説明します。

旧機種とPCをインターフェースケーブルで接続します。
 RS-232C接続またはTCP/IP接続の場合には、ACアダプタも接続します。

(2) TR3RWManagerを起動します。

旧機種からの EEPROM 設定の「保存」、新機種への EEPROM 設定の「復元」を行う際には、 必ず Ver. 3. 50 以降の同じバージョンの TR3RWManager を使用してください。 ※設定ファイルに過不足・不整合が生じ、EEPROM 設定が正しく復元できません。

デスクトップ上に作成されたショートカットアイコンをダブルクリックすると「TR3RWManager」が起動します。

起動すると次の画面が表示されます。

TR3RWManager		– 🗆 X
ファイル(F) リーダライタ制御コマンド(R) リーダライタ設定:	コマンド(Q) RFタグ通信コマンド(T) リーダライタEEPROM設定(E) 通信設定(C) ヘルプ(H)	
リーダライタ動作モード 通信できません 設定ダイアログニ コマンド 逆怒イジベジゲリ RD100P オードスキッシ	ReadBytes/WriteBytes インターフェース設定 Interface	デージジリア(F I)
受信データー覧 送受信ログ	インターフェースの設定	
	リーダライタ接続インターフェース ● シリアルインターフェース ○ LANインターフェース	
	シリアルインターフェース LANインターフェース	
	シリアルボート番号 通信速度	
	COM1 ©OM1 ©OM1 © 15200cps ③ 38400cps ④ 15200cps ④ 115200cps ③ 115200cps サゴー和師: 無手順 プロー制師: 無手順 ジ デバイススネージャを開く.	

接続しているリーダライタのインターフェースにより、次頁の(3)または(4)の手順で リーダライタと PC を接続します。

RS-232C 接続または USB 接続の場合、(3) をご参照ください。 TCP/IP 接続の場合、(4) をご参照ください。 (3) RS-232C 接続、または USB 接続の場合

[シリアルインターフェース]を選択し、旧機種が接続されている COM ポート(シリアルポート番号) と旧機種のシリアル通信速度を選択します。フロー制御は[無手順]を選択し、[OK]をクリックします。



リーダライタの COM ポートが分からない場合や、正常に通信が開始されない場合には、「TR3RWManager 取扱説明書」の「3.1 RS-232C 通信・USB 通信」をご参照ください。

リーダライタとの通信が正常に開始された場合は、次の画面のように表示されます。 COM ポートのオープンに成功し、リーダライタの ROM バージョンと動作モードの読み取りが 行われます。

	×
ファイル(F) リーダライタ制御コマンド(R) リーダライタ設定コマンド(Q) RFタグ通信コマンド(T) EPC(I) リーダライタEEPROM設定(E) 通信設定(C) ヘルプ(H)	
リーダライタ動作モード コマンドモード 設定ダイアログ ReadBytes/WriteBytes インターフェース設定 COM12 192000	ops
コマンド 遠続インベン州 RDLOOP オートスキャン EPCインベン州 EPCインベン州 FPCインベン州 ReadBytes_ WriteBytes	
受信データー覧 送受信ログ	
04/06 14:38:43.478 [cmt] /* COMボートのオーブン */	
04/08 14:38:43.494 [cml] COMボートのオーブンに成功しました。	
U4/06 14:36:43-439 [Cmit] C0mi : 12 04/06 14:38:43.494 [Cmit] im信決策 : 129200bps	
04/06 14:38:43.494 [cmt] /* ROMバージョンの読み取り */	
04/08 14:38:43.494 [send] 02 00 4F 01 90 03 E5 0D	
U4/06 14:38:43.681 [recv] U2 UU 3U UA 9U 31 3U 3/ 3U 54 52 46 3U 33 U3 E6 UD	
10/10 14:38:43,713 [cat] (* リーダライタ動作モードの読み取り */	
04/06 14:38:43.713 [send] 02 00 4F 01 00 03 55 0D	
04/06 14:38:43.728 [recv] 02 00 30 09 00 00 00 18 00 00 00 00 03 56 0D	
04/06 14:38:43.728 [cmt] リーダライタ動作モード : コマンドモード	
U4/U5 14:38:43-728 [cmt] メンナコリション : 黒効 0.4/06 14:00-42 700 [cmt] メンナコリション : 黒効	
ロインロローオ-30-1-30-1-20 LUNU1 mLのなどう動けF 建築的加みなう 04/06 14:38:43:78 (Earl) ブザー : 鳴らす	
04/06 14:38:43.728 [cmt] 送信データ : ユーザデータのみ	
┃04/06 14:38:43.728 [cmt] 通信速度 : 19200bps	

(4) TCP/IP 接続の場合

[LANインターフェース]を選択し、旧機種に割り振られている IP アドレスと TCP ポート番号を入力し、 [OK]をクリックします。

※事前にPC側のネットワーク設定(IPアドレス、サブネットマスクの設定)を行う必要があります。



PC 側のネットワーク設定の方法が分からない場合は、「TR3RWManager 取扱説明書(据置型/モジュール製品編)」の「3.2 TCP/IP 通信」をご参照ください。

リーダライタの IP アドレスは、御社のシステム担当者にご確認ください。

リーダライタとの通信が正常に開始された場合は、次の画面のように表示されます。 コネクションの確立に成功し、リーダライタのROMバージョンと動作モードの読み取りが行われます。

TR3RWManager[TR3X]	- 🗆 X
ファイル(F) リーダライタ制御コマンド(R) リーダライタ設定コマンド(Q) RFタグ通信コマンド((T) EPC(I) リーダライタEEPROM設定(E) 通信設定(C) ヘノレプ(H)
リーダライタ動作モードコマンドモード 設定ダイアログ…	todPutes AtkitePutes 192.168.0.1 9004
コマンド 連続インペン州 RDLOOP オートスキャン EPCインペン州 EPCインペン州	ReadBytes WriteBytes データグリア (F9)
受信データー 皆 送受信ログ	
04/09-15:56:56.346 [cmt] /* コネクションの確立 */	
04/09-15:56:56.862 [cmt] コネクションの確立に成功しました。	
04/09 15:56:56.862 [cmt] IPアドレス : 192.168.0.1	
04/09 15:56:56.862 [cmt] ポート番号 : 9004	
D4/09 15:56:56.862 [cmt] /* ROMバージョンの読み取り */	
04/09 15:56:56.862 [send] 02 00 4F 01 90 03 E5 0D	
04/09 15:56:56.909 [recv] 02 00 30 0A 90 31 30 37 30 54 52 46 30 33 0	3 E6 OD
04/09 15:56:56.909 [cmt] ROMバージョン : 1.07 OTRF03	
04/09 15:56:56.940 [cmt] /* リーダライタ動作モードの読み取り */	
04/09 15:56:56.940 [send] 02 00 4F 01 00 03 55 0D	
04/09 15:56:56.987 [recv] 02 00 30 09 00 00 00 18 00 00 00 00 03 5	6 OD
04/09 15:56:56.987 [cmt] リーダライタ動作モード : コマンドモード	
04/09 15:56:56.987 [cmt] アンチコリジョン : 無効	
04/09 15:56:56.987 [cmt] 読み取り動作 : 連続読み取り	
04/09 15:56:56.987 [cmt] ブザー :鳴らす	
04/09 15:56:56.987 [cmt] 送信データ : フーザデータのみ	
[04/09 15:56:56.987 [cmt] 通信速度 : 19200bps	

1.5 旧機種で EEPROM 設定を保存する

旧機種のリーダライタ内部の EEPROM に書き込まれた内容をファイルに出力する方法を説明します。

(1) TR3RWManager のメニューバーより、[リーダライタ EEPROM 設定] - [EEPROM 設定値の保存]を 選択します。

※リーダライタの動作モードもそのまま引き継ぎする際は、「コマンド」ボタンは押さない ようにしてください。 押してしまった場合、一度リーダライタの電源を切って再度接続し直すか、 メニューバーの[リーダライタ制御コマンド] - [リスタート]をクリックしてください。

TR3RWManager		- 🗆 X
ファイル(F) リーダライタ制御コマンド(R) リーダライタ設定コマンド(Q) RFタグ通信コマンド(T)	リーダライタEEPROM設定(E) 通信設定(C) ヘルプ(H)	
リーダライタ動作モード 連続インパントリモード 設定ダイアログ コマンド 注意インパン川 RDLOOP オートスキャン ReadBytes WriteBytes	EEPROM間易設定(A) インターフェース設定 EEPROM詳細設定(B) ー	192.168.0.1 9004 ቻ <i> ዓታ</i> ሀፖ (F9)
受信データー覧 送受信ログ	アドレス指定読み取り(C) アドレス指定書き込み(D)	
<pre>04/16 13:11:02.141 [cmt] /* コネクションの確立 */ 04/16 13:11:02.672 [cmt] コネクションの確立に成功しました。 04/16 13:11:02.672 [cmt] IPアドレス: 192.168.0.1 04/16 13:11:02.672 [cmt] ボート番号: 9004 04/16 13:11:02.672 [cmt] /* ROMバージョンの読み取り */ 04/16 13:11:02.672 [send] 02 00 4F 01 90 03 E5 00 04/16 13:11:02.659 [recv] 02 00 30 0A 90 31 33 37 31 31 30 39 30 38 03 90 04/16 13:11:02.659 [cmt] ROMバージョン: 1.37 110908 04/16 13:11:02.859 [cmt] ROMバージョン: 1.37 110908 04/16 13:11:02.859 [cmt] 7* リーダライタ動作モードの読み取り */ 04/16 13:11:02.938 [recv] 02 00 4F 01 00 03 55 00 04/16 13:11:02.938 [recv] 02 00 4F 01 00 03 55 00 04/16 13:11:02.938 [recv] 02 00 4F 01 00 03 55 00 04/16 13:11:02.938 [cmt] リーダライタ動作モード: 連続インベントリモート 04/16 13:11:02.938 [cmt] アンチコリジョン : 無効 04/16 13:11:02.938 [cmt] アンチコリジョン : 無効 04/16 13:11:02.938 [cmt] ブザー : 鳴らす 04/16 13:11:02.938 [cmt] 送信データ : ユーザデータのみ 04/16 13:11:02.938 [cmt] 通信速度 : 19200bps</pre>	EEPROM設定値の保存(E) D 0D	

(2) リーダライタの EEPROM に「自動読み取りモード」の動作モード設定が書き込まれている場合、 以下のメッセージが表示されます。

※「コマンドモード」の場合は表示されません。

アンテナの交信エリア内にタグが存在しないことを確認してから[OK]をクリックします。



(3) EEPROM 詳細設定の画面が開くので、[設定保存/復元]をクリックします。

※EEPROM 設定値の保存ボタンより EEPROM 詳細設定メニューに入った場合、 他の設定ボタンはグレーダウンしており、選択できないようになっています。

PROMConf							
		EEPROM詳細設定					
	EEPROM設定一覧						
●EEPROM設定一覧	設定内容	設定値	設定内容	設定値			
	汎用ポート1の機能	汎用ポート	リーダライタ動作モード	連続インベントリモード			
	汎用ポート2の機能	汎用ポート	リーダライタ動作モード - アンチコリジョン	無効			
	汎用ポート3の機能	汎用ポート	リーダライタ動作モード - 読み取り動作	連続読み取り			
リータフィタ動作モード設定	汎用ポート7の機能	ブザー制御信号出力ポート	リーダライタ動作モード - ブザー	鳴らす			
	汎用ポート3の機能選択	RS485制御信号出力ポート	リーダライタ動作モード - 送信データ	ユーザデータのみ			
RFX/IIITFtTPicte	汎用ポート1の入出力設定	出力	リーダライタ動作モード - 通信速度	19200bps			
初日ポート設定	汎用ポート2の入出力設定	出力	RFタグ動作モード - 符号化方式	ISO15693(1/4)			
////T/N_T'BQAE	汎用ポート3の入出力設定	出力	RFタグ動作モード - 変調度	10%			
アンテナ切恭設定	汎用ポート4の入出力設定	入力	RFタグ動作モード - サブキャリア	デュアルサブキャリア(FSK)			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	汎用ポート5の入出力設定	入力	RDLOOPモード読み取り開始ブロック番号	1			
各種設定1	汎用ポート6の入出力設定	入力	RDLOOPモード読み取りデータ長	4			
d later.	汎用ポート7の入出力設定	入力	アンチコリジョンモード	通常処理モード			
各種設定2	汎用ポート8の入出力設定	入力	AFI値の設定 (HEX)	0			
	汎用ポート1の初期値	0	自動読み取りモード動作時のAFI指定	無効			
	汎用ポート2の初期値	0	RFタグ通信コマンドのリトライ回数	1			
	汎用ポート3の初期値	0	SimpleWriteコマンド実行時のUID指定	無効			
設定保存/復元	汎用ポート4の初期値	1	自動読み取りモード動作時のトリガー信号	無効			
	汎用ポート5の初期値	1	ノーリードコマンドの設定	無効			
	汎用ポート6の初期値	1	ブザー種別の設定	標準			
	汎用ポート7の初期値	1	1ブロック当たりのバイト数	4/5/15			
	汎用ポート8の初期値	1	RFタグ通信設定	通常設定			
	アンテナ自動切替	無効	リーダライタのID (HEX)	0			
	接続アンテナ数	0	I-CODE SLIX サポート	無効			
	アンテナ自動切替制御信号	通常ポート	RF送信信号設定	記動時ON			
	アンテナ自動切替時のアンテナID出力	有効	My-d自動識別時のアクセス方式	My-dカスタムコマンド			
	カスケード接続	無効	ReadBytes/RDLOOP系の内部処理	ReadSingleBlock			
	カスケードボート1の接続アンテナ数	0					
	カスケードポート2の接続アンテナ数	0					
	カスケードポート3の接続アンテナ数	0					
設定終了	カスケードボート4の接続アンテナ数	0					
	カスケードボート5の接続アンテナ数	0					
	カスケードボート6の接続アンテナ数	0					
	カスケードボートアの接続アンテナ教	0					
	カスケードボート8の接続アンテナ数	0					

(4) [設定保存]ボタンをクリックします。

EEPROMConf	EEPROMConf ×				
	EEPROM詳細設定				
EEPROM設定一覧	設定保存/復元 設定の保存				
リーダライタ動作モード設定 RFタグ動作モード設定	EEPROMの設定値をファイJUに保存します。				
汎用ポート設定	設定の復元				
アンテナ切替設定	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー				
各種設定1	設定復元				
各種設定2					
●設定保存/復元 					
<u>設定終了</u>					

(5) 設定ファイルの保存先を入力し、[保存]ボタンをクリックします。 ※設定ファイルの拡張子は、「***. tr3eep」で保存されます。

							_
💀 保存先のファイルる	を選択してください						×
← → · ↑ 📙	› PC › ドキュメント › EEPROM設定ファイル	le la		~ 0	EEPROM設定ファイ	ルの検索	٩
整理 ▼ 新しいフォ	เมช-					-	?
🌲 カイック マクセ	名前 ^	更新日時	種類	サイズ			
× 0490700		検索条件に一致する	5.11日けありません。				
PC		TRACKING 2X 9 0	D-RE18-05-5-8-E700				
↓ ダウンロード							
🔜 デスクトップ							
📑 ドキュメント							
📰 ピクチャ							
🚪 ビデオ							
🎝 ミュージック							
🏪 OS (C:)							
🕳 Data (D:)							
🥔 ネットワーク							
ファイル名(N):	default.tr3eep						~
ファイルの種類(T): ・	TR3設定ファイル(*.tr3eep)						~
ヘ フォルダーの非表表	<u></u>				保存(S)	キャンセル	•

(6) ファイルが保存されると以下のメッセージが表示されます。



(7) EEPROM 詳細設定の画面で[設定終了]をクリックして画面を閉じ、初期画面のメニューバーで [ファイル] - [終了]を選択して TR3RWManager を終了します。

TR3RWManager	- 🗆 X
ファイル(F) リーダライタ制御コマンド(R) リーダライタ設定コマンド(Q) RFタグ通信コマ	ンド(T) リーダライタEEPROM設定(E) 通信設定(C) ヘルプ(H)
受信データー覧表示情報 インボート(I) ダイアログ_ 終了(X) ReadBytes/WriteBytes PreadBytes_ WriteBytes	インターフェース設定 192.168.0.1 9004 たち データジリア (F 9)
受信データー覧 送受信ログ	
04/16 13:11:02.672 [cmt] ボート番号: 9004 04/16 13:11:02.672 [cmt] /* R0Mバージョンの読み取り*/ 04/16 13:11:02.672 [send] 02:00 47 10:00 10:00 15:00 04/16 13:11:02.672 [send] 02:00 47 10:00 10:00 15:00 04/16 13:11:02.859 [recv] 02:00 40:00 13:33 37:31 31:30 39:30:30 04/16 13:11:02.859 [cmt] // U-ダライタ動作モードの読み取り */ 04/16 13:11:02.938 [send] 02:00 47:00 10:00 18:00 00:00 00:00 00 00 00:00 0:00 0:00 <td< td=""><td>▲ 38 03 90 00 03 A6 00 リモード み み</td></td<>	▲ 38 03 90 00 03 A6 00 リモード み み

(8) 旧機種の電源を切り、PCとリーダライタの接続を切ります。

※USB 接続の場合は USB ケーブルを、RS-232C 接続または TCP/IP 接続の場合には AC アダプタを 抜きます。

1.6 新機種で EEPROM 設定を復元する

前項でファイルに出力した EEPROM 設定を新機種で復元する方法を説明します。

 新機種を PC に接続し、TR3RWManager を起動してリーダライタと PC の接続を確立します。 TR3RWManager の起動及びリーダライタとの接続の方法は、「1.4 旧機種を PC と接続する」を ご確認ください。

【LAN 接続のリーダライタ使用時の注意点】

新機種に TR3X-MN01-8 を使用する場合、IP アドレスおよび TCP ポート番号の初期値は以下の通りとなっています。

また、リーダライタの IP アドレスが分からなくなった場合や、変更する場合は、IPSet2 を 使用してください。

手工	IP アドレス	TCP ポート番号	IP アドレスの
空八	初期値	初期値	確認・変更ツール
TR3X-MN01-8	192. 168. 0. 1	9004	IPSet2

(2) メニューバーから[リーダライタ EEPROM 設定] - [EEPROM 詳細設定]をクリックします。

TR3RWManager[TR3X]	– 🗆 X
ファイル(F) リーダライタ制御コマンド(R) リーダライタ設定コマンド(Q) RFタグ通信コマンド(T) EPC(I)	リーダライタEEPROM設定(E) 通信設定(C) ヘルプ(H)
リーダライタ動作モード コマンドモード 設定ダイアログー ReadBytes/Write	EEPROM簡易設定(A) EEPROM詳細設定(B) EEPROM詳細設定(B)
コマンド 運業インベンド RDLOOP オートスキャン EPGインベンド USJCF ReadBytes	データグJア(F9) アドレス指定読み取り(C)
受信データー覧 送受信ログ	アドレス指定書き込み(D)
04/17 14:05:15.924 [cmt] ROMバージョン :1.07 0TRF03 04/17 14:05:15.955 [cmt] /* リーダライタ動作モードの読み取り */ 04/17 14:05:15 DEF [cond] 02:00 45:01:00 02:55:00	EEPROM設定値の保存(E) ^
04/17 14:05:16:002 [recv] 02 00 30 09 00 00 01 8 00 00 00 00 00 03 56 00 04/17 14:05:16:002 [recv] 02 00 30 09 00 00 01 8 00 00 00 03 56 00 04/17 14:05:16:002 [cmt] リーダライタ動作モード:コマンドモード	
04/17 14:05:18.002 [cmt] アンチコリジョン : 無効 04/17 14:05:18.002 [cmt] 読み取り動作 : 連続読み取り 04/17 14:05:18.002 [cmt] ブザー ::鳴らす	
04/17 14:05:16.002 [cmt] 送信データ : ユーザデータのみ 04/17 14:05:16.002 [cmt] 通信速度 : 19200bps	
U4/17 4:U5:23.889 [cmt] /* リータライダ動作モートの読み取り */ O4/17 4:U5:23.889 [send] 02 00 4F 01 00 03 55 0D O4/17 4:U5:23.920 [recv] 02 00 30 09 00 00 01 8 00 00 00 00 03 56 0D	
04/17 14:05:23.920 [cmt] リーダライタ動作モード : コマンドモード 04/17 14:05:23.920 [cmt] アンチコリジョン : 無効	
04/17 14:05:23.920 [cmt] 式が取り動TF : 理統記が取り 04/17 14:05:23.920 [cmt] ブザー :鳴らす 04/17 14:05:23.920 [cmt] 送信データ :ユーザデータのみ	
04/17 14:05:23.920 [cmt] 通信速度 : 19200bps 04/17 14:05:23.987 [cmt] /* 86700互換モード設定の読み取り */	
U4/17 14:U5:23.9b7 [send] U2 UU 4F UI 78 03 CE UD O4/17 14:05:23.998 [recv] 02 00 30 02 79 00 03 B0 0D O4/17 14:05:23.998 [rent] S670D万地モード設定:通常モード	
	~

(3) EEPROM 詳細設定の画面になりますので、[設置保存/復元]のタブを選択し、[設定復元]を クリックします。

EEPROMConf	x
	EEPROM詳細設定
EEPROM設定一覧 リーグライク動作モード設定 RFタグ動作モード設定 汎用ポート設定 アンテナ切替設定 各種設定1	設定保存/復元 設定の保存 EEPROMの設定値をファイルルら復元します。 設定の復元 EEPROMの設定値をファイルから復元します。現在の設定値は上書をされます。 設定復元
<u>各種設定2</u> ●設定保存/復元	
: <u>設定終了</u>	

(4) 旧機種から出力した EEPROM 設定ファイル(拡張子 ***. tr3eep)を選択して[開く]をクリックします。

归 復元元のファイルを選	択してください				×
	PC > ドキュメント > EEPROM設定ファイル	~ 1	し EEPROM設定フ	アイルの検索	0
整理 ▼ 新しいフォルダ	-			== •	?
▲ カイック アクセン	* 名前 *	更新日時	種類	サイズ	
A 210272C	TR3-N002C-8.tr3eep	2018/04/16 13:28	TR3EEP ファイル	9 KB	
PC	TR3-N002C-8_FRAM.tr3eep	2018/04/16 14:46	TR3EEP ファイル	9 KB	
🖊 ダウンロード	TR3-N002C-8_V330.tr3eep	2018/04/16 14:40	TR3EEP ファイル	9 KB	
🔜 デスクトップ					
📳 ドキュメント					
📰 ピクチャ					
📕 ビデオ					
♪ ミュージック					
🖕 OS (C:)					
771	(ル名(N): TR3-N002C-8_V330.tr3eep		✓ TR3設定ファイル	(*.tr3eep)	\sim
	· · · · · ·		開<(O)	キャンセル	

(5) 正常に EEPROM 設定が上書きされた場合には、以下のメッセージが表示されます。 引き続き[1.7 項]をご参照頂き、設定の確認・変更を行います。



※以下のメッセージが表示された場合、旧機種と新機種で EEPROM 設定の読み書きに使用 した TR3RWManager のバージョンが異なっている場合が考えられます。

必ず Ver.3.50 以降の同じバージョンの TR3RWManager を使用して旧機種の EEPROM 設定を保存し、 新機種に移行してください。

Error		×					
8	XMLファイルのフォーマットが不正です。 D:¥default.tr3eep						
[エラー詳細] System.Xml.Schema.XmlSchemaValidationException: 要素 'EEPROMOther2Info' には不完全な内容が含まれています。必要とさ れる要素は 'RFLevel' です。 場所							
	System.Xml.Schema.XmlSchemaValidator.CompleteValidationEr ror(ValidationState context, ValidationEventHandler eventHandler, Object sender, String sourceUri, Int32 lineNo, Int32 linePos, Boolean getParticles) 場所						
	System.Xml.Schema.XmlSchemaValidator.InternalValidateEndEl ement(XmlSchemaInfo schemaInfo, Object typedValue) 場所						
	System.Xml.XsdValidatingReader.ProcessEndElementEvent() 場所 System.Xml.XsdValidatingReader.Read() 場所						
	TR3NET2008Libinternal.xmlEEPROMConf.ReadXmlFile(String filepath)						
	ОК]					
Error	×						
8	設定変更時にエラーが発生しました。						
	ОК						

1.7 機種ごとの必須確認項目を手動で確認・変更する

「1.5 旧機種で EEPROM 設定を保存する」および「1.6 新機種で EEPROM 設定を復元する」の手順で 旧機種から EEPROM 設定を引き継いだ場合、旧機種で保持している設定は引き継がれますが、旧機種に は無い新機種固有の設定が初期値と変わってしまう可能性があるため、一部の設定を手動で変更する必 要があります。

変更する箇所は旧機種により異なりますので、お使いの機種に該当する箇所のみ参照してください。

EEPROM 詳細設定の左側のメニューから確認したい設定項目を選択し、設定を個別に確認・変更します。

CEPROM 経 AB & Comparison Co	EEPRO	DMConf				x
●エロドROM協定一覧 EEPROM協定の 設定作業 シーグライタ助作モード コマンドモード コマンドロッド コマンドロッド コマンドロッド コマンドロッド コマンドロッド コロシード コマンドロッド コロシード コマンドロッド コマンドロッド コマンドロッド コマンドロッド コン コアンドロッド コン コン コン コン コン コン コン コン				EEPROM詳細設定		
●EEPROM超空一式 財産内容 財産価 財産価 財産価 財産価 財産価 財産価 リーヴライ効動作モード認定 パ用ボードの確能 ドレク「動作性ビード フワンドモード フワンドモード フワンドモード フワンドモード フワンドモード アンドモード パ用ボードの確認 「逆気の物作モード・アンテゴリジュン 第の パ用ボードの確認 フザー制御信号出力ボート リーダライ分動作モード・ブゲー 頃らす 「日本						
●EEPROMMER 砂麦花(個) 砂麦花(個) 砂麦花(個) 砂麦花(個) 砂麦花(個) 砂麦花(個) リーダライダ動作モド・コンパモド・ フスパモ・トの細胞 ビリカ(回)(細胞(音)(ス)(ス)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1			EEPROM設定一覧			
リーグライタ動作モード ワーグライタ動作モード ワーグライタ動作モード ワーグライタ動作モード ワーグライタ動作モード ワーグライタ動作モード ワーグライタ動作モード ワーグライタ動作モード アンテリアシーン 展売 アクライタ動作モード 1 <th></th> <th>●EEPROM設定一覧</th> <th>設定内容</th> <th>設定値</th> <th>設定内容</th> <th>設定値</th>		●EEPROM設定一覧	設定内容	設定値	設定内容	設定値
リーダライタ動作モードに設定 川井ボート3041総造 リレガー810011音気入カホート リーダライタ動作モード・アンテコリジョン 無力 パ川井ボート3041総造 初雄造業化 リーダライタ動作モード・アンテコリジョン 腰の子 パ川井ボート3041総造業化 ゴシー割回し音先出力ホート リーダライタ動作モード・ブリー 照ら子 パ川井ボート3041総造業化 ゴシー割回し音先出力ホート リーダライタ動作モード・ご言言である ユーザデータのみ パ川井ボート302 パ川井ボート3041総造業化 コシー割回し音先出力ホート リーダライタ動作モード・ご言言である ユーザデータのみ パ川井ボート302 パ川井ボート302,出力設定 ハカ ドアダ動作モード・ご言言である 1920100pc パ川井ボート402,出力設定 ハカ ドアダ動作モード・ご言言である 1920100pc パ川井ボート402,出力設定 ハカ ドアダ動作モード・ご言言である 1920100pc パ川ボボート402,出力設定 ハカ ドアダウが作モード・ご言言である 100 パ川ボボート402,出力設定 ハカ ドワグの助作モード ご言言しかる パ川ボボート402,出力設定 ハカ アジブリジュンモード 100 パ川ボボート402,出力設定 ハカ アジブリンジェード 高速処理モード1 パリボボ パリボボ イ 100 100 パリボボボ ハカ ドロジョンド 11 11 パリボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボボ			汎用ポート1の機能	LED制御信号出力ポート	リーダライタ動作モード	コマンドモード
リーグライク動作モード設定 「規用ボート307総総 供給金 リーグライク動作モード (法規市・ド・7) (法規市・F) (法用市・F) (法用市・F) (法用市・F) (法用市・F) (法用市・F) (知力) (ジョンジョンジョンジョンジョンジョンジョンジョンジョンジョンジョンジョンジョンジ	1		汎用ポート2の機能	トリガー制御信号入力ポート	リーダライタ動作モード - アンチコリジョン	無効
クニノハンショルモニーはなど アナー・104% アナー・104% アナー・104% アナー・104% アナー・105% マー・サデー、200% マー・サデー ジェー・サデー・ション ジェー・サデー ジェー・サア・ ジェー・サア・ ジェー・サア・ ジェー・サア・ ジェー ジェー ジェー ジェー		にガラフカ新作士に切りつつ	汎用ポート3の機能	機能選択	リーダライタ動作モード - 読み取り動作	連続読み取り
住力グ動作主一に設定 八用ボート30次総治設作 レラージ利用ボート リージライダ物作モードー ご信子ータのみ 汎用ボート30次 パ川市ボート30次出力設定 パカ リージライダ物作モードー 逆信 12000cpc パ川市ボート30次出力設定 パカ リージライダ物作モードー ご言 12000cpc 12000cpc アンテナ切音設定 パ川市ホート30次出力設定 ハカ ロージライダ物作モードー・ご言 12000cpc 12000cpc 各種設定1 パ川市ホート40次出力設定 出力 RFダダ物作モードー・ブラキッリア デフルリウチャリア(FSX) 別用ボート50次出力設定 出力 RFダダ物作モード・・ブラキッリア デフルリウチャリア(FSX) 別用ボート50次出力設定 出力 RFダダ物作モード・・ブラキッリア デフルリウチャリア(FSX) 別用ボート50次出力設定 出力 RFダダ効ή作モード・・ブきスッリア デフルリウチャリア(FSX) 別用ボート50次出力設定 出力 RFダダ効ή作モード・・ブき、アフリアシッチャリア デフルリウチャリア(FSX) 別用ボート50次出力設定 出力 RFダダ効ή作用の目標 1 別用ボート50次加助資産 ロ ロ 1 別用ボート50次加助資産 1 1 1 別用ボート50次加助資産 0 1 1 別用ボート50次加助資産 0 1 1 別用ボート50次加助資産 1 1 1 <td>1 -</td> <th>/<u>「クリイク動TFモニト設定</u></th> <td>汎用ポート7の機能</td> <td>ブザー制御信号出力ポート</td> <td>リーダライタ動作モード - ブザー</td> <td>鳴らす</td>	1 -	/ <u>「クリイク動TFモニト設定</u>	汎用ポート7の機能	ブザー制御信号出力ポート	リーダライタ動作モード - ブザー	鳴らす
10.10.2011年、1002 10.用ポート100人出力設定 入力 リーダライダ動作モード・う値信速度 192000cs 3.用ポート設定 3.用ポート200人出力設定 入力 RFクダ動作モード・う値信速度 192000cs アンテナ切替設定 3.用ポート200人出力設定 出力 RFクダ動作モード・マ美和度 10.6 3.用ポート300人出力設定 出力 RFクダ動作モード・マ美和度 10.6 3.用ポート400人出力設定 出力 RFクダ動作モード・マ美和度 10.6 3.用ポート500入出力設定 出力 RDLOOPE - Fi63A 907間からフック号 4 3.用ポート60人出力設定 ハカ RDLOOPE - Fi63A 907間からフック号 4 3.用ポート60人出力設定 出力 RDLOOPE - Fi63A 907間からフック号 4 3.用ポート60人出力設定 ハカ RDLOOPE - Fi63A 907間からフック号 4 3.用ポート60人出力設定 出力 RDLOOPE - Fi63A 907間からフック号 4 3.用ポート60人出力設定 出力 RDLOOPE - Fi63A 907間かられたり 0 3.用ポート60人の出力設定 出力 RDLOOPE - Fi63A 907間かられたり 0 3.用ポート60人の消費 1 RDLOOPE - Fi63A 9071時のま 1 3.用ポート60人の消費 1 RDLOOPE - Fi63A 9071時のま 1 3.用ポート60小期間値 1 RDLOOPE - Fi63A 9071時のま 1		ppなが動作エード設定	汎用ポート3の機能選択	エラー制御信号出力ポート	リーダライタ動作モード - 送信データ	ユーザデータのみ
汎用ポート設定 別用ポート設定 入力 ドドク切かにモード - で考号化方式 ISO1693(1/4) 第月ボート200人出力設定 入力 ドドク切かにモード - で考号化方式 ISO1693(1/4) 第月ボート200人出力設定 入力 ドドク切かにモード - で考号化方式 ISO1693(1/4) 第月ボート200人出力設定 出力 FF2の切れドモード - サブネッリア デュアルサブキッリア(FSK) 第月ボート200人出力設定 出力 FF2の切れデモード - サブネッリア デュアルサブキマリア(FSK) 第月ボート200人出力設定 ハ力 FF2の切れデモード - サブネッリア デュアルサブキマリア(FSK) 第月ボート200人出力設定 ハ力 FF2の切れデモード - サブネッリア デュアルサブキマリア(FSK) 第月ボート200人出力設定 出力 FF2の切れデモード - サブネッリア ボーボ 第月ボート200人出力設定 ハ力 FF2の可以下モード(FB3取り)データ長 4 第月ボート200人出力設定 ハ力 FF2の可以下モード(FB3取り)データ長 4 第月ボート200人出力設定 ハ力 FF2の可以下モード(FB3取り) FF2の目 5 第日 10月ボート100月期間 1 FF2の可いモード(FB0和UP) FF2の目 5 第月ボート200月期順値 1 FF2のうりにやがいたりしたし 5 5 5 第月ボート200月期間値 1 FF2のう音(FF2) 「素効 5 5 5 第月ボート200月期間値 1 FF2のう目的		NEXTRA FELLINGAL	汎用ポート1の入出力設定	入力	リーダライタ動作モード - 通信速度	19200bps
認知能一致認定 汎用ポート30入出力設定 入力 ドドク防かにモード - 変現度 10% アンテナ切着設定 汎用ポート40入出力設定 出力 RF内がかにモード - 変現度 10% 各種設定1 汎用ポート40入出力設定 出力 RD1000Fモード読み取りデック長 4 各種設定2 汎用ポート60入出力設定 出力 RD1000Fモード読み取りデーク長 4 3月ポート60入出力設定 出力 RD1000Fモード読み取りデーク長 4 第月ポート80入出力設定 出力 RD1000Fモード読み取りデーク長 4 第月ポート80入出力設定 出力 RD100Fモード読み取りデーク長 4 第月ポート80入出力設定 出力 RF内が助すたモード動作時のAFT協定 第 第月ポート80入出力設定 出力 RF内が助すたものわり期待面 1 第月ポート80和期待面 1 RFかが通信コンドのリティー協のHT協会 1 第月ポート80和期待面 0 ノーリードコマンドの設定 無力 第月ポート80和期待面 0 ノーリードコマンドの設定 標力 第月ポート80和期待面 1 RFかジョンドのい間待面 1 第月ポート80和期前面 1 RFが辺やなどのしいドキャンド 第 第月ポート80和期前面 1 RFがジョンビッンドの設定 通が 第日 1 RFがジョンビッンド 第 第		汎用ポート設定	汎用ポート2の入出力設定	入力	RFタグ動作モード - 符号化方式	ISO15693(1/4)
アンテナリ蓄設定 汎用ボート400入出力設定 出力 PF々グ動作モード - サブキッリア デュアルサブキッリア(FSK) 各種設定1 汎用ボート600入出力設定 出力 RDLOOPモード読み取りデータ長 4 3.000 パ用ボート600入出力設定 入力 アンテナリジョンモード 高速処理モード1 3.011 第4種設定2 パ用ボート600入出力設定 入力 アンデリジョンモード 高速処理モード1 3.011 第4種設定2 パ用ボート600入出力設定 出力 APT (日を) 0 1 3.011 1 自動読み取りモード動作時のAPT (日を) 0 1 1 1 3.011 1 目的読み取りモード動作時のAPT (日を) 1 1 1 1 3.011 パ用ボート00加期値 1		///////////////////////////////////////	汎用ポート3の入出力設定	入力	RFタグ動作モード - 変調度	10%
各種設定1 沢用ボート6の入出力設定 出力 RDLOOPE - ド読み取り間始 ブロック番号 0 32月 沢用ボート6の入出力設定 出力 RDLOOPE - ド読み取り買か - 9長 4 32月 沢用ボート6の入出力設定 入力 アンチブリジョンモード 高速処理モード1 32日 沢用ボート6の入出力設定 入力 アンチブリジョンモード 高速処理モード1 32日 沢用ボート6の入出力設定 出力 AFT600換定 (HEX) 0 32日 パ用ボート1007期間値 1 RPダブ通行シンド数(FHEA) 1 32日 パ用ボート1007期間値 1 RPダブ通行設定 無効 32日ボートちの7期間値 0 ノートビスンドの利力ご 第 第 32日ボートちの7期間値 0 ノートビスンドの設定 無効 第 32日ボートちの7期間値 1 170ック当た00.014152 無効 第 32日ボートちの7期間値 1 170ックジョを20.014153 3 # 32日ボートちの7期間値 1 170ックジョを20.014153 3 # 32日ボートをの7期間値 1 170ッグラゴを20.014153 3 # 32日ボートをの7期間値 1 170ッグラゴを20.014153 3 # 32日ボートをの7期間値 1		アンテナ切替設定	汎用ポート4の入出力設定	出力	RFタグ動作モード - サブキャリア	デュアルサブキャリア(FSK)
各種設定1 沢用ポート®の入出力設定 出力 RDLOOPE~Fi表み取のデータ長 4 3.用ポート®の入出力設定 入力 アンチフリヴュンモード 高速処理モード1 3.用ポート®の入出力設定 入力 アンチフリヴュンモード 高速処理モード1 3.用ポート®の入出力設定 出力 AFI値の設定 (HEX) 0 3.用ポート®の加期値 1 自動読み取りモード動作時のAFI指定 無効 3.用ポート®の加期値 1 RFダジ通信コマンドのトライ回数 1 3.用ポート®の加期値 0 自動読み取りモード動作時のUD指定 無効 3.用ポート®の加期値 0 1 アンテイジの設定 無効 3.用ポート®の加期値 0 ノーリードコマンドの設定 無効 1 3.用ポート®の加期値 0 ノーリードコマンドの設定 無効 1 3.用ポート®の加期値 0 ノーリードコマンドの設定 標準 3.用ポート®の加期値 1 RFダジ面音設定 通常設定 3.用ポート®の加期値 1 RFダジ面音設定 通常設定 アンテブき数 0 FOOD SULT サポート 「未設定値は無効なマールド」 アンテブ自動切替部(回下やすた) 「未設定値は無効なマールド」 アンデきなごした 「また アンデす動が酸 0 FOOD ESULT サポート 「未設定値は無効なな」 アンデラ			汎用ポート5の入出力設定	出力	RDLOOPモード読み取り開始ブロック番号	0
各種設定2 汎用ボトト7の入出力設定 入力 アンチコジョンモード 満建処理モード1 汎用ボート8の入出力設定 出力 AFI道の設定(HEX) 0 別用ボート8の入出力設定 出力 AFI道の設定(HEX) 0 説ポードの入出力設定 出力 AFI道の設定(HEX) 0 説ポードのの知知値 1 自動読み取りてード動作時のAFI指定 無力 汎用ボート8の介別項値 1 SimpleWriteTorVF実行時のUD指定 無力 汎用ボート8の介別項値 0 自動読み取りつと下野作時のUD指定 無力 汎用ボート6の介別項値 0 自動読み取りつと下野作時のUD指定 無力 汎用ボート6の介別項値 0 ノーリードコマンドの設定 無力 汎用ボート6の介別項値 1 17ロックジョンののでしていたいま 構力 汎用ボート6の介別項値 1 ドクック目的設定 運業力 汎用ボート6の介別項値 1 ドクロックドロシントの 0 アンデブ自動切替すのアンテブす数 0 FOODE SLIX サポート 「本設定値は知力なってールド」 アンデブ自動切替時のアンテブす数 0 FS700互換定 通常 カスケードボートの推続アンデす数 0 S700互換に My・dカスタムコマンド カスケードボートの接続アンデす数 0 アンデオ運動切替終で時のレスボンス 通ぎれい カスケードボートの目標表アンデす数 0		<u>各種設定1</u>	汎用ポート6の入出力設定	出力	RDLOOPモード読み取りデータ長	4
各種設定2 汎用ボート8の入出力設定 出力 AFIdeの設定(HEX) 0 汎用ボート8の入出力設定 1 自動読み取りモード動作時のAFI皆定 無力 説用ボート8の方期用値 1 F852通貨コンドのリトライ回数 1 汎用ボート8の方期用値 1 SimpleWriteコマンド実行時のUD指定 無力 汎用ボート8の方期用値 0 9 9 第カ 汎用ボート8の方期用値 0 9 9 9 9 汎用ボート8の方期用値 0 7 9 7 9 7 汎用ボート8の方期間値 0 7 7 7 7 7 7 汎用ボート8の方期間値 1 17 17 9			汎用ポート7の入出力設定	入力	アンチコリジョンモード	高速処理モード1
説用ポート1007期月値 1 自動読み取りモード動作時令の4F階定 無効 説用ポート2007期月値 1 FPダブ通信コマンドの0トライ回数 1 説用ポート2007期月値 1 Simple Writar2v下探行時のUD18定 無効 汎用ポート4007期月値 0 自動読み取りモード動作時令のトリガー信号 無効 汎用ポート6007期月値 0 ノーリードコマンドの設定 無効 汎用ポート6007期月値 0 ノーリードコマンドの設定 無効 汎用ポート6007期月値 1 170ック当たりのパイト数 4パイト 汎用ポート6007期月値 1 アンテナ自動切路定 通常設定 アンテナ自動切路 1 FPダブ通信設定 通常設定 アンテナ自動切路制御信号 通常ボート FP送信信号設定 起動時のFF(コマンドグリレード) アンテナ自動切路部間では今 両常ボート FP送信信号設定 起動時のFF(コマンドグリレーンド) アンテナ自動切路部時のアンテナDU出力 有効 Mv-d0 急激影明6のアクセス方式 Mv-d0カ2/2コマンド カスケードボート107接続アンテナ数 0 FPジーチョ動切路線のアリーンド 58700互換に下しためび振力 通常 カスケードボート207接続アンテナ数 0 アンテナ目動切留絵 アレラナ数 30mW カスケードボート807接続アンテナ数 30mW カスケードボート607機能アンテナ数 0 アンテナ自動切留絵 アレラナ数 返さない 325ない カスケードボート607機能アンテナ数 </td <td></td> <th><u>各種設定2</u></th> <td>汎用ポート8の入出力設定</td> <td>出力</td> <td>AFI値の設定 (HEX)</td> <td>0</td>		<u>各種設定2</u>	汎用ポート8の入出力設定	出力	AFI値の設定 (HEX)	0
設定保存/復元 汎用ボート2007期預値 1 RFタグ通信コマンドのリトライ回数 1 説用ボート3007期期値 1 SimpleWriteコマンド変行時のUDB指定 無効 汎用ボート3007期期値 0 自動読み取りモード動作時のレリガー信号 無効 汎用ボート5007期期値 0 ノーリードコマンドの設定 無効 汎用ボート5007期期値 0 ブザー種別の設定 標準 汎用ボート5007期間値 1 170ッジ当たの設定 運営 汎用ボート3007期間値 1 170ッジ当を100パイト数 4パイト 汎用ボート3007期間値 1 RFタグ通信言なご 通常設定 アンデナ目動切替 有効 リーダライタのDD (HEX) 0 接続アンデナ数 0 F-00DE SLIX サポート 「本設定値は無効なフィールド」 アンデナ目動切替制御信号 通常ボート RF2グ通信言設定 起動時のFF (コマンド受付以二 アンデナ目動切替制御信号 通常ボート ReadSystes/ RDLOOP系の内部処理 ReadSystes/ RDLOOP系の内容処理 カスケードボート20接続アンデナ数 0 アンデナ細胞 LED/SWW 300mW カスケードボート20接続アンデナ数 0 アンデナ目動切替終ア時のレスポンス 返さない カスケードボート20接続アンデナ数 0 アンデナ目動切替終アドのレスポン ごたない カスケードボートの接続アンデナ数 0 ロバッフアングジの運賃を19の 10 <td></td> <th></th> <td>汎用ポート1の初期値</td> <td>1</td> <td>自動読み取りモード動作時のAFI指定</td> <td>無効</td>			汎用ポート1の初期値	1	自動読み取りモード動作時のAFI指定	無効
設定保存/復元 汎用ポート30秒期期値 1 SimpleWite_Jマンド実行時のUID指定 無効 1川ポポート40秒期期値 0 自動読み取りモード動作時のトリガー信号 無効 汎用ポート50秒期期値 0 ノーリードフマンドの設定 無効 汎用ポート50秒期間値 0 ノーリードフマンドの設定 無効 汎用ポート50秒期値 0 ブザー看別の設定 標準 汎用ポート70秒期値 1 170ック当たりのパイト数 4パトト 汎用ポート80秒期通 1 ドアタブ通信設定 通常設定 汎用ポート70秒期値 1 ドアタブ通信設定 通常設定 アンデナ自動切替 有効 リーダライタのID (HEX) 0 ド港(ホットラナ教) 0 FCODE SLX サポート Fa設定値は無効なフィールドJ アンデナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-da動識影時のアクセス方式 My-dカスタムコマンド カスケードボート10接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 超動時のFC1マンド受付以 カスケードボート20接続アンテナ数 0 アンテナ幅能 E64Dytes/TeBのし E64Dytes/TeBのレスポンス カスケードボート40接続アンテナ数 0 ジェード ジェード My そのは、アンテナ カスケードボート80接続アンテナ数 0 UTW Sy アンテナ自動切替線で時のレスポンス ジェント カスケードボート80接続アンテナ数 0 UTW Sy アングング処理(重視手力ア)			汎用ポート2の初期値	1	RFタグ通信コマンドのリトライ回数	1
設定途子(温元) 汎用ポート40秒取用値 0 自動読み取りモード動作時のトリガー信号 無効 パ用ポート50秒取用値 0 ノーリードマンドの設定 無効 パ用ポート50秒取用値 0 ブザー種別の設定 標準 パ用ポート60秒取用値 1 ブワック当たりのパイト数 4/5イト パ用ポート50秒取用値 1 RFタグ通信設定 通常設定 パ用ポート80秒取用値 1 RFタグ通信設定 通常設定 アンテナ自動切替 有効 リーグライタのID (HES) 0 アンテナ自動切替 通常ポート RF送信信号設定 起動時のFF(コマンド受付以 アンテナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-dカスタムコマンド アンテナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-dカスタムコマンド カスケードボート10接続アンテナ数 0 S67002 現モード設定 通常 カスケードボート20 接続アンテナ数 0 アンテナ組織 LEONSW機能無効 カスケードボート40 接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替給アロレスポンス 返さない カスケードボート60 接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替給アロレスポンス 返さない カスケードボート80 接続アンテナ数 0 UUN'9フリング処理(重視チェック) 行わない カスケードボート80 接続アンテナ数 0 UUN'9フリング処理(重視チェック) 行わない	1		汎用ポート3の初期値	1	SimpleWriteコマンド実行時のUID指定	無効
説用ポート50秒期期値 0 ノーリードコマンドの設定 無効 汎用ポート60秒期期値 0 ブザー種別の設定 標準 汎用ポート70秒期期値 1 1ブロック当たりのパイト数 パイト 汎用ポート70秒期期値 1 パロック当たりのパイト数 少ドト 汎用ポート80秒期期値 1 RFタグ通信設定 通常設定 アンテナ自動切替 有効 リーダライタのID (HEX) 0 アンテナ自動切替制御信号 通常ポート RF送信信号設定 起動時のFF(コマンド受付以 アンテナ自動切替制御信号 通常ポート RF送信信号設定 起動時のFF(コマンド受付以 アンテナ自動切替制御信号 通常ホート RF送信信号設定 通常設ちのアンテナビレンド カスケードボート107接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート20接続アンテナ数 0 アンテナ目動切替給でのハウレスボンス 返さない カスケードボート30接続アンテナ数 0 アンテナ目動切替給で時のレスボンス 返さない カスケードボート400接続アンテナ数 0 ロレびシアノング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート60接続アンテナ数 0 ロレびシアノング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート80接続アンテナ数 0 ロレびシアノング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート80接続アンテナ数 0 ロレびシアノング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート80接続アンテナ支		設定保存/復元	汎用ポート4の初期値	0	自動読み取りモード動作時のトリガー信号	無効
説用ポート6007期用値 0 ブザー種別の設定 標準 汎用ポート7007期用値 1 17日ック当たりのパイト数 4パイト 汎用ポート7007期用値 1 RFタグ通信設定 通常設定 アンラナ自動切替 有効 リーダライタのID (HEX) 0 Pンラナ自動切替制値信号 通常ポート RF送信信号設定 起動時のFF(コマンド受付以 アンラナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-dカスタムコマンド アンラナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-dカスタムコマンド アンテナ自動切替時のアンテナID出力 有効 ReadBytes/ RDLOOP系の内部処理 ReadSingleBlock カスケードポート107接続アンテナ数 0 S6700回貨換モード設定 通常 カスケードポート107接続アンテナ数 0 S6700回貨換モード設定 通常のW カスケードポート307接続アンテナ数 0 S6700回貨換モード設定 通知 カスケードポート507接続アンテナ数 0 ジェクレ 300mW カスケードポート507接続アンテナ数 0 UUT No-アレング処理(重視チェック) 行わない カスケードポート507接続アンテナ数 0 EPC自動切替終7時のレスポンス 返さない カスケードポート6の接続アンテナ数 0 UUT No-アレング処理(重視チェック) 行わない カスケードポート807接続アンテナ数 0 EPC自動読取 EPC目動読取			汎用ポート5の初期値	0	ノーリードコマンドの設定	無効
設定終了 汎用ポート70が期期値 1 1プロック当たりのパイト数 4/ドイト 汎用ポート80が期期値 1 RF タグ通信設定 通常設定 アンテナ自動切替 有効 リーダライタのID (HEX) 0 接続アンテナ数 0 FOODE SLID サポート 「本設定値は無効ねフィールド」 アンテナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-d力スタムコマンド アンテナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-d力スタムコマンド カスケードボート10接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート20接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替終7回の 回常 カスケードボート30接続アンテナ数 0 ジーナ S6700互換モード設定 通常 カスケードボート40接続アンテナ数 0 ジーナ S6700互換モード設定 通常 カスケードボート20接続アンテナ数 0 ジーナ S6700互換モード設定 通常 カスケードボート40接続アンテナ数 0 ジーナ S6700互換モード設定 通常 カスケードボート20接続アンテナ数 0 ジーナ S6700互換モード時の読取大地 返さない カスケードボート80接続アンテナ数 0 UUT (>アンテナ自動切替終7時のレスポンス 返さない カスケードボート80接続アンテナ数 0 UUT (>アンテナ自動切替終7時のレスポンス 返さない			汎用ポート6の初期値	0	ブザー種別の設定	標準
汎用ポート8007期用値 1 RFタグ通信設定 通常設定 アンテナ自動切替 有効 リーダライタのID (HEX) 0 接流アンテナ数 0 FOODE SLIX サポート 「本設定値は無効なフィールド」 アンテナ自動切替時のアンテナ10 道常ポート FF送信信号設定 起動時OFF(コマンド受付以 アンテナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-dカスタムコマンド カスケードボート107接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート107接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート107接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート107接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替給で時のレスポンス 返さない カスケードボート507接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替給で時のレスポンス 返さない カスケードボート607接続アンテナ数 0 UUTダッフリング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート607接続アンテナ数 0 EFC自動切替絵Tや時のレスポンス 返さない カスケードボート607接続アンデナ数 0 EFC自動気取モード時の読取や数 返さない カスケードボート607接続アンテナ支数 0 EFC自動気取モード時の読取や数 して			汎用ポート7の初期値	1	1ブロック当たりのバイト数	4/%/F
アンテ1自動切替 有効 リーダライタのID (HEX) 0 指統アンテ1数 0 FCODE SLX サポート 不設定信法無効なフィールド] アンテ1自動切替時のアンテ10出力 通常ポート RF送信信号設定 起動時OFF(コマンド受付以 アンテ1自動切替時のアンテ10出力 有効 My-dafj激励時のアクセス方式 My-dafj激励 カスケードボート107 有効 My-dafj激励同者のアクセス方式 My-dafj激励 カスケードボート107 有効 My-dafj激励同者のアクセス方式 My-dafj激励 カスケードボート107 有効 My-dafj激励 My-dafj激励 カスケードボート107 有効 My-dafj激励 My-dafj激励 カスケードボート107 第20 S87002 現先ード設定 通常 カスケードボート207 0 アンテナ自動切替系で与のレスボンス 返さない カスケードボート807 0 アンテナ自動切替系で与のレスボンス 返さない カスケードボート807 0 UIUTSワアリング処理(重視チェック) 行わない カスケードボート807 0 EPC自動気取しード時の読取せ数 返さない カスケードボート807 0 EPC自動気取しード時の読取せ数 返さない カスケードボート807 0 EPC目動気取しード時の読取せ数 返さない カスケードボート807 10 EPC目動気取したい EPC目動気取したい			汎用ポート8の初期値	1	RFタグ通信設定	通常設定
接続アンテナ数 0 I-CODE SLIX サポート 「本設定値は無効なフィールド」 アンテナ自動切替制師言号 通常ポート RF送信信号設定 起動時OFF(コマンド受付以 アンテナ自動切替制師言号 通常ポート RF送信信号設定 起動時OFF(コマンド受付以 アンテナ自動切替制師言号 通知 My-dab識別iPioのアクセス方式 My-dabaごでとしていた カスケードボート10搭続アンテナ数 0 86700互換モード設定 通常 カスケードボート20接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替給で時のレスポンス 通常 カスケードボート30接続アンテナ数 0 ど信出力 300mW カスケードボート30接続アンテナ数 0 ど信出力 300mW カスケードボート50接続アンテナ数 0 UUI ('>アンテナ自動切替給で時のレスポンス 返さない カスケードボート50接続アンテナ数 0 UUI ('>アンテナ自動切替給で時のレスポンス 返さない カスケードボート50接続アンテナ数 0 UUI ('>アンテナ自動切替給で取りたいため 返さない カスケードボート50接続アンテナ数 0 EPC自動読取と一下時の読取枚数 返さない カスケードボート60接続アンテナす数 0 EPC自動読取と一下時の読取枚数 返さない カスケードボート80接続アンテナす数 0 EPC自動読取と一下時の読取枚数 2020(')	1		アンテナ自動切替	有効	リーダライタのID(HEX)	0
アンテナ自動切替制御信号 通常ボート RF送信信号設定 起動時OFF(コマンド受付以 アンテナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-dカスタムコマンド カスケード接続 無効 ReadBytes/RDLOOP系の内部処理 ReadSingleBlock カスケードボート1の接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート2の接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート3の接続アンテナ数 0 送信出力 300mW カスケードボート4の接続アンテナ数 0 ジョン ジョン カスケードボート5の接続アンテナ数 0 ジョン ジョン カスケードボート4の接続アンテナ数 0 ジョン ジョン カスケードボート5の接続アンテナ数 0 UUT Syフィン 返さない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動切替終了時のレスボンス 返さない カスケードボート5の接続アンテナ数 0 UUT Syフィン ジョン カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動切替約 どない カスケードボート8の接続アンテナ数 0 EPC目動読取と一時の読取としたい レード			接続アンテナ数	0	I-CODE SLIX サポート	「本設定値は無効なフィールド」
アンテナ自動切替時のアンテナID出力 有効 My-d自動識別時のアクセス方式 My-d力スタムコマンド カスケード接続 無効 ReadBytes//RDLOOP系の内部処理 ReadSingleBlock カスケードボート10接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート20接続アンテナ数 0 S6700互換モード設定 通常 カスケードボート3の接続アンテナ数 0 ジ信出力 300mW カスケードボート4の接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替終了時のレスポンス 返さない カスケードボート5の接続アンテナ数 0 UUT(>フノング処理(重視チェック) 行わない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート8の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート8の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 EPC目			アンテナ自動切替制御信号	通常ボート	RF送信信号設定	起動時OFF(コマンド受付以
カスケード接続 無効 ReadBytes/RDLOOP系の内部処理 ReadSingleBlock カスケードボート10接続アンテナ数 0 56700互換モード設定 通常 カスケードボート20接続アンテナ数 0 アンテナ概能 LDDSW機能無効 カスケードボート30接続アンテナ数 0 ジ信出力 300mW カスケードボート40接続アンテナ数 0 ジ信出力 300mW カスケードボート50接続アンテナ数 0 ビリンデナ自動切替終了時のレスポンス 返さない カスケードボート50接続アンテナ数 0 UUV シフナリング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート50接続アンテナ数 0 EPC自動気取モード時の読取付数 返さない カスケードボート50接続アンテナ数 0 レロレビンドレード時の読取付数 返さない カスケードボート50接続アンテナ数 0 レロレビンド ー カスケードボート50接続アンテナ数 0 ビンド ー	1		アンテナ自動切替時のアンテナID出力	有効	My-d自動識別時のアクセス方式	My-dカスタムコマンド
カスケードボート1の接続アンテナ数 0 56700互換モード設定 通常 カスケードボート2の接続アンテナ数 0 アンテナ機能 LED/SW機能無効 カスケードボート3の接続アンテナ数 0 送信出力 300mW カスケードボート4の接続アンテナ数 0 ジーナナ機能 LED/SW機能無効 カスケードボート3の接続アンテナ数 0 ジーナナ目動切替終了時のレスボンス 返さない カスケードボート5の接続アンテナ数 0 UUパッファリング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート5の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 エードロ会振取大支数 0 カスケードボート5の接続アンテナ数 0 国家の主要ない 二			カスケード接続	無効	ReadBytes/RDLOOP系の内部処理	ReadSingleBlock
約スケードボート2の接続アンテナ数 0 アンテナ機能 LED/SW機能無効 カスケードボート3の接続アンテナ数 0 送信出力 300mW カスケードボート4の接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替終了時のレスボンス 返さない カスケードボート5の接続アンテナ数 0 UUパッファリング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取 ごさない カスケードボート8の接続アンテナ数 0 EPC自動読取 EPC目			カスケードボート1の接続アンテナ数	0	S6700互換モード設定	通常
カスケードボート3の接続アンテナ数 0 送信出力 300mW カスケードボート4の接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替終了時のレスボンス 返さない カスケードボート5の接続アンテナ数 0 リロパッファリング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート7の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート8の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない	1		カスケードボート2の接続アンテナ数	0	アンテナ機能	LED/SW機能無効
設定終了 カスケードボート4の接続アンテナ数 0 アンテナ自動切替終了時のレスポンス 返さない カスケードボート5の接続アンテナ数 0 UUF(>アノリング処理(量積チェック) 行わない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート7の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート8の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない			カスケードポート3の接続アンテナ数	0	送信出力	300mW
カスケードボート5の接続アンテナ数 0 UIIバッファリング処理(重複チェック) 行わない カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート7の接続アンテナ数 0 0 0	·	<u>設定終了</u>	カスケードポート4の接続アンテナ数	0	アンテナ自動切替終了時のレスポンス	返さない
カスケードボート6の接続アンテナ数 0 EPC自動読取モード時の読取枚数 返さない カスケードボート7の接続アンテナ数 0	1		カスケードポート5の接続アンテナ数	0	UII/シッファリング処理(重複チェック)	行わない
カスケードボート7の接続アンテナ数 0 カスケードボート8の接続アンテナ数 0			カスケードポート6の接続アンテナ数	0	EPC自動読取モード時の読取枚数	返さない
カスケードボート8の接続アンテナ数 0			カスケードポート7の接続アンテナ数	0		
			カスケードボート8の接続アンテナ数	0		

マニュアル番号: TDR-OTH-EEPROM-MIDDLE-8-100

1.7.1 汎用ポート設定

新機種の「汎用ポート設定」の以下の項目を確認し、必要に応じて変更します。 変更後に[設定]ボタンを押すことで EEPROM への書き込みが行われます。

※赤色 → 部分は、新機種でアンテナ切替を使用する際に必ず変更が必要となる箇所です。
※青色 → 部分は、旧機種と新機種で機能が異なる部分ですので、必要に応じて変更します。

EEPROMConf			— II X	x				
		EEPROM詳細設定						
	汎用ポート設定	汎用ポート設定						
<u>EEPROM設定一覧</u>	汎用ポート	機能	入出力設定	初期値				
	汎用ボート1 	● LED制御信号出力ポート ○ 汎用ポート	● 入力 ○ 出力	0 0 1				
リーダライタ動作モード設定	汎用ポート2							
RFタグ動作モード設定		● トリガー制御信号入力ポート ○ 汎用ポート						
	汎用ポート3	● 機能選択 ○ 汎用ポート						
		機能選択	●入力 ○出力	0 01				
<u>各種設定1</u>		○ RS485制御信号出力ポート						
: <u> </u>	汎用ポート4	汎用ポート	○ 入力 💿 出力	● 0 ○ 1				
設定保存/復元	汎用ポート5	汎用ポート	○入力 ⑧出力	● 0 ○ 1				
	汎用ポート6	汎用ポート	○ 入力 () 出力	● 0 0 1				
	汎用ポート7	◉ ブザー制御信号出力ポート ○ 汎用ポート	● 入力 ○ 出力	0 0 1				
	汎用ポート8	汎用ポート	○ 入力 ● 出力	0 1				
<u>設定終了</u>				設定				

●旧ショートレンジ機種から新ミドルレンジ機種への切り替えの場合の注意点

【汎用ポート1~6の初期値】

旧ショートレンジ機種では、汎用ポート1~3を使用してアンテナ切替制御を行っていましたが、 新ミドルレンジ機種では、汎用ポート4~6を使用してアンテナ切替制御を行っており、 汎用ポート1~3は、別の機能に割り当てられています。

旧ショートレンジ機種から新ミドルレンジ機種へ EEPROM 設定の引き継ぎを行った場合、 アンテナ切替機能を使用するためには、汎用ポート 4~6 を上記の通り設定変更を行う必要が あります。

また、汎用ポート1~3は、上の表を参照して初期値に変更することを推奨します。

【汎用ポート8の初期値】

汎用ポート8は、旧ショートレンジ機種では「入力」の設定になっていましたが、新ミドルレンジ 機種では「出力」の設定に変更してください。 ●旧ミドルレンジ機種から新ミドルレンジ機種への切り替えの場合の注意点

【汎用ポート3】の初期値

旧ミドルレンジ機種… [機能: RS485 制御信号出力ポート]-[入出力設定: 入力]-[初期値: 1] 新ミドルレンジ機種… [機能: エラー制御信号出力ポート]-[入出力設定: 入力]-[初期値: 1]

旧ミドルレンジ機種では、[汎用ポート 3]の初期値は[RS485 制御信号出力ポート]に割り当てられ ており、リーダライタから上位機器にコマンドのレスポンスを返す際の内部制御信号として使用し ていました。

新ミドルレンジ機種では、[汎用ポート3]はリーダライタ筐体天面のLED(赤)に割り当てられて おり、[RS485 制御信号出力ポート]にして使用すると、コマンドのレスポンスがリーダライタから 上位機器に返る毎にLED(赤)が点灯します。

汎用ポート3の機能を[エラー制御信号出力ポート]に割り当てると、NACK レスポンス等のエラー応 答が返った際に LED(赤)が点灯するようになります。

新ミドルレンジ機種の初期値は[エラー制御信号出力ポート]に割り当てられておりますので、 手動で変更することを推奨します。

1.7.2 アンテナ切替設定

新機種の「アンテナ切替設定」の以下の項目を確認し、必要に応じて変更します。 変更後に[設定]ボタンを押すことで EEPROM への書き込みが行われます。

※赤色 ── 部分は、新機種でアンテナ切替を使用する際に必ず変更が必要となる箇所です。

EEPROMConf			x
		EEPROM詳細設定	
	アンテナ切替設定		
<u>EEPROM設定一覧</u>	アンテナ自動切替:	 ○ 無効 ● 有効 	
	接続アンテナ数:	3 🔶 [接続数 - 1]	
リータフィタ動作モード設定	アンテナ自動切替制御信号:	○ 通常ボート ● 拡張ボート	
	アンテナID出力:	○ 無効 ● 有効	
	カスケード接続:	 無効 有効 	
<u>アノナ/ 切留設定</u> タ種設定1	1段目	2段目(0-8[0未使用])	
<u>世祖設定</u>	カスケードポート1の接続アンテナ数:	0 🗢	
	カスケードポート2の接続アンテナ数:	0 🛓	
設定保存/復元	カスケードボート3の接続アンテナ数:	0	
	カスケードボート4の接続アンテナ数:	0	
	カスケードボート5の接続アンテナ数:	0	
	カスケードボート6の接続アンテナ数:	0	
	カスケードボート7の接続アンテナ数:	0	
	カスケードポート8の接続アンテナ数:	0	
設定終 <u>了</u>		設定	

●旧ショートレンジ機種から新ミドルレンジ機種への切り替えの場合の注意点

【アンテナ自動切替制御信号】

アンテナ切替の制御信号出力ポートとして、旧ショートレンジ機種では、汎用ポート1~3(通常ポ ート)が割り当てられていましたが、旧ミドルレンジ機種および新ミドルレンジ機種では、汎用ポ ート4~6(拡張ポート)が割り当てられています。

旧ショートレンジ機種から新ミドルレンジ機種へ EEPROM 設定の引き継ぎを行った場合、[アンテナ 自動切替制御信号]に[通常ポート]が上書きされますので、手動で[拡張ポート]に変更しないとア ンテナ切替機能が動作しません。

1.7.3 各種設定2

新機種の「各種設定 2」の以下の項目を確認し、必要に応じて変更します。 変更後に[設定]ボタンを押すことで EEPROM への書き込みが行われます。

※赤色 → 部分は、旧機種から新機種へ自動で引き継がれない項目です。必ず確認頂き、変更して ください。

EEPROMConf		8	ĸ
		EEPROM詳細設定	
	各種設定2	,	5
<u>EEPROM設定一覧</u>	RF送信信号設定:	記動時OFF(コマンド受付以降ON) V	
リーダライタ動作モード設定	My-d自動識別時のアクセス方式:	 ● My-dカスタムコマンド ○ ISO 15693オブションコマンド 	
RF欠グ動作モード設定	ReadBytes/RDLOOP系の内部処理:		
<u>汎用ポート設定</u> アンテナ切替設定		ReadMultiBlock	
<u>各種設定1</u>	S6700互換モード設定:	 ● 通常 ○ S6700互換 	
●各種設定2	アンテナ機能:	LED/SW機能無効 V	
	送信出力:	300mW ~	
<u>設定体行/18元</u>	アンテナ自動切替終了時のレスポンス:	● 返さない ○ 返す	
	│ UII/ミッファリング処理(重複チェック): │	④ 行わない 〇 行う	
	EPC自動読取モード時の読取枚数:	● 返さない ○ 返す	
		設定	
設定終了			
	<	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•

【アンテナ機能】

旧機種では[アンテナ機能]に相当する機能はハードウェアの内部実装で行っていたため、 EEPROM 設定に該当する設定がありませんでした。 旧機種で EEPROM 設定の保存を行った場合、[アンテナ機能]に該当する項目が無いため、 デフォルト値の[LED 機能有効]が設定されます。旧機種から新機種へ EEPROM 設定の引き継ぎを 行った際には、[アンテナ機能]を手動で[LED/SW 機能無効]に変更する必要があります。

●旧ショートレンジ機種から新ミドルレンジ機種への切り替えの場合の注意点

【送信出力】

旧ショートレンジ機種は出力が固定(100mW)のため、EEPROM 設定に[送信出力]の設定がありません。 旧機種で EEPROM 設定の保存を行った場合、[送信出力]に該当する項目が無いため、デフォルト値 の[300mW]が設定されます。旧ショートレンジ機種から新機種へ EEPROM 設定の引き継ぎを行った際 には、[送信出力]を手動で[100mW]に変更する必要があります。

1.8 S6700 互換モードに切り替える

新機種と旧機種では、一部のコマンドで仕様や応答の動作が異なるため、機種置き換えを行うことで お客様のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

その場合、S6700互換モードに切り替えることにより、旧機種と同等の動作を行うことが可能となり ます。但し、新機種で新しく追加された一部の機能は利用出来なくなります。

新機種で追加されたコマンド仕様は、以下のWebサイト上の関連資料

「ミドルレンジリーダライタ TR3/TR3Xシリーズの比較」の[3. コマンド機能]をご確認ください。 [URL] http://www.takaya.co.jp/product/rfid/hf/hf_list/#m

通常モードとS6700互換モードのコマンドの応答の仕様の違いについては、「TR3Xシリーズ通信プロト コル説明書」の[3.5 S6700互換モード設定]をご確認ください。

●S6700互換モードへの切り替えの方法

[EEPROM詳細設定]の[各種設定2]メニューで、[S6700互換モード設定: S6700互換]を選択し、 [設定]をクリックします。

EEPROMConf			
EEPROM詳細設定			
	各種設定2		^
<u>EEPROM設定一覧</u>	RF送信信号設定:	記動時OFF(コマンド受付以降ON) ~	
	My-d自動識別時のアクセス方式:	● My-dカスタムコマンド	
リーダライタ動作モード設定		○ IS015693オプションド	
REタグ動作モード設定			
汎用ポート設定	ReadBytes/ RDLOOP#00/16009#1:	ReadSingleBlock	
アンテナ切替設定		() ReadMultiBlock	
<u>各種設定1</u>	S6700互換モード設定:	○ 通常 ● S6700互換	
●各種設定2	アンテナ機能:	LED/SW機能無効 ~	
	送信出力:	300mW ~	
設定保存/復元	アンテナ自動切替終了時のレスポンス:	 返さない) 返す 	
	UII/バッファリング処理(重複チェック):	④ 行わない 〇 行う	
	EPC自動読取モード時の読取枚数:	 ・ 返さない ・ ○ 返す ・ 	
		設定	
設定終了			
			~
<u> </u>	×	2	

「各種設定 2」で[S6700 互換モード設定]を[S6700 互換]に変更した場合、

「各種設定1」の[ICODE SLIX サポート]の[有効]/[無効]の設定が併せて必要となります。 ※[S6700 互換モード設定]が[通常]の場合には、[I-CODE SLIX サポート]の行が表示されません。 以下の手順で旧機種の[ICODE SLIX サポート]の設定を確認し、新機種の設定を手動で変更して ください。

旧機種で[ICODE SLIX サポート]の[有効]/[無効]の設定は、以下の通り確認します。

旧機種から出力した EEPROM 設定ファイルをテキストエディタ(メモ帳など)で開き、 旧機種の[ICODE SLIX サポート]の[有効]/[無効]の設定値を確認します。



検索ワードの例:「SLIX」

<SLIXSupport>と </SLIXSupport>の間の数字が「0」の場合は[無効]、「1」の場合は[有効]に 設定されています。上記例では[無効]に設定されています。

新機種の EEPROM 詳細設定の[各種設定 1]を開き、[ICODE SLIX サポート]の[有効]/[無効]の 設定を旧機種と合わせます。

Romeon					
		EEPROM詳	細設定		
	各種設定1				
<u>EEPROM設定一覧</u>	RDLOOPモード読み取り開始ブロック番号:	÷ (
	RDLOOPモード読み取りデータ長:	4 🜲			
リーダライタ動作モード設定	アンチコリジョンモード:	高速処理モード1	~		
RFタグ動作モード設定	AFI値の設定 (HEX):	0 🜩			
汎用ポート設定	自動読み取りモード動作時のAFI指定:	◉ 無効	○ 有効		
アンテナ切替設定	RFタグ通信コマンドのリトライ回数:	1			
●各種設定1	SimpleWriteコマンド実行時のUID指定:	◉ 無効	○ 有効		
各種設定2	自動読み取りモード動作時のトリガー信号:	◉ 無効	○ 有効		
	ノーリードコマンドの設定:	◉ 無効	○ 有効		
設定保存/復元	ブザー種別の設定:	● 標準	○ ブザー音大		
	1ブロック当たりのバイト数:	● 4/Ÿ7ト	0 8/ÿ/ト		
	リーダライタのID (HEX):	0 🜩		_	
	I-CODE SLIX サポート:	◉ 無効	○ 有効		
				1	
			設定		
設定約了					
	<				

旧機種で[ICODE SLIX サポート]が[有効]に設定されている場合は、新機種を[S6700 互換モード]で使用 する際には、新機種でも必ず[ICODE SLIX サポート]を[有効]に設定してください。



Ver No	日付	内容
1.00	2018/5/8	新規作成

タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部

[[]URL] <u>http://www.takaya.co.jp/</u>

[[]Mail] <u>rfid@takaya.co.jp</u>

仕様については、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。